



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月5日

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 9845 URL <https://www.parkercorp.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 嘉重
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務本部長 (氏名) 橋本 一徳 TEL 03-5644-0600
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	16,904	16.6	1,075	0.9	1,096	△6.7	746	△53.8
2024年3月期第1四半期	14,495	8.8	1,065	37.7	1,174	26.0	1,617	184.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,108百万円 (△8.0%) 2024年3月期第1四半期 2,291百万円 (38.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	29.86	—
2024年3月期第1四半期	64.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	69,722	46,144	62.1
2024年3月期	69,395	44,331	59.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 43,285百万円 2024年3月期 41,558百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	9.3	4,200	△7.8	4,400	△12.4	3,100	△13.9	123.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期1Q	26,801,452株	2024年3月期	26,801,452株
2025年3月期1Q	1,786,631株	2024年3月期	1,786,589株
2025年3月期1Q	25,014,846株	2024年3月期1Q	25,009,787株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状況の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、足踏みも見られるものの雇用・所得環境の改善や高い水準にある企業収益などの要因により、緩やかに回復している一方で、物価上昇や地政学リスクの懸念、金融資本市場の変動の影響等、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの主力の取引先である自動車業界は、認証不正問題からの出荷停止解除に伴う生産再開により持ち直しておりますが、引き続き中国市場での不振、原材料価格の高騰や需要の変動など、厳しい状況が続いております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は16,904百万円（前年同期比16.6%増）、営業利益は1,075百万円（同0.9%増）、経常利益は1,096百万円（同6.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前連結累計期間の負ののれん発生益834百万円がなくなったことにより、746百万円（同53.8%減）となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	14,495	16,904	2,409	16.6
営業利益	1,065	1,075	9	0.9
経常利益	1,174	1,096	△78	△6.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,617	746	△870	△53.8

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりであります。

・機械部門

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	745	716	△28	△3.9
営業利益	51	55	3	7.0

国内の食品機械輸入販売は堅調に推移しましたが、自動車業界向け設備販売は、前期と同等の大型設備案件が当第1四半期には無かった為、減収となりました。

当部門の売上高は、716百万円（同3.9%減）、営業利益は55百万円（同7.0%増）となりました。

・化成品部門

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	5,149	7,998	2,849	55.3
営業利益	225	281	56	25.2

自動車業界向けの製造販売は、国内は原材料の高騰の影響を受けましたが、海外は前期に取得した連結会社の製造販売が当第1四半期から寄与したことにより増収となりました。

当部門の売上高は7,998百万円（同55.3%増）、営業利益は281百万円（同25.2%増）となりました。

・化学品部門

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	1,514	1,563	49	3.3
営業利益	52	81	28	54.2

国内外市場向けの一般工業用ケミカル及び特殊ケミカルの製造販売は、国内向けは堅調に推移し、海外向けの輸出が増加したことにより増収増益となりました。

当部門の売上高は1,563百万円（同3.3%増）、営業利益は81百万円（同54.2%増）となりました。

・産業用素材部門

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	4,538	4,213	△325	△7.2
営業利益	492	406	△85	△17.4

自動車用防音材の製造販売は、一部得意先の生産台数減少の影響により減収となりました。家電用防音材の製造販売は、海外における販売不振の影響により減収減益となりました。

当部門の売上高は4,213百万円(同7.2%減)、営業利益は406百万円(同17.4%減)となりました。

・化工品部門

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	1,612	1,619	6	0.4
営業利益	175	193	18	10.4

国内カーケアケミカルの製造販売は、堅調に推移しました。ファインケミカルの製造販売は、国内では低調な推移でしたが、海外では増収となりました。

当部門の売上高は1,619百万円(同0.4%増)、営業利益は193百万円(同10.4%増)となりました。

・その他部門

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	935	793	△141	△15.2
営業利益	68	57	△11	△16.9

その他部門は主に化学原料の輸出入が減少し、低調に推移しました。

当部門の売上高は793百万円(同15.2%減)、営業利益は57百万円(同16.9%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ326百万円増加し、69,722百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少(287百万円)、商品及び製品の減少(206百万円)がありましたが、現金及び預金の増加(333百万円)、有形固定資産の増加(520百万円)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ1,486百万円減少し、23,578百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少(1,374百万円)、未払法人税等の減少(237百万円)によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ1,812百万円増加し、46,144百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加(471百万円)、為替換算調整勘定の増加(1,119百万円)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、前回公表の計画(2024年5月9日付決算短信)に修正はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,944	19,278
受取手形及び売掛金	15,492	15,205
商品及び製品	4,945	4,739
仕掛品	573	647
原材料及び貯蔵品	3,337	3,192
その他	3,197	3,046
貸倒引当金	△89	△92
流動資産合計	46,400	46,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,352	11,539
減価償却累計額	△7,734	△7,918
建物及び構築物(純額)	3,617	3,620
機械装置及び運搬具	11,061	11,469
減価償却累計額	△9,349	△9,676
機械装置及び運搬具(純額)	1,711	1,792
土地	7,311	7,391
リース資産	2,270	2,202
減価償却累計額	△1,323	△1,247
リース資産(純額)	947	954
建設仮勘定	674	1,015
その他	4,777	4,952
減価償却累計額	△4,123	△4,291
その他(純額)	654	661
有形固定資産合計	14,916	15,437
無形固定資産		
のれん	207	181
借地権	178	185
その他	206	215
無形固定資産合計	592	582
投資その他の資産		
投資有価証券	5,423	5,629
長期貸付金	245	245
繰延税金資産	195	175
その他	1,708	1,721
貸倒引当金	△85	△85
投資その他の資産合計	7,486	7,686
固定資産合計	22,994	23,706
資産合計	69,395	69,722

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,752	9,377
短期借入金	2,342	2,354
1年内返済予定の長期借入金	266	253
リース債務	412	363
未払法人税等	814	577
賞与引当金	949	794
その他	2,761	2,960
流動負債合計	18,299	16,682
固定負債		
長期借入金	1,850	1,843
リース債務	880	919
繰延税金負債	1,755	1,814
役員退職慰労引当金	136	131
退職給付に係る負債	2,019	2,055
資産除去債務	32	33
その他	89	97
固定負債合計	6,764	6,895
負債合計	25,064	23,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201	2,201
資本剰余金	2,518	2,518
利益剰余金	31,521	31,993
自己株式	△649	△649
株主資本合計	35,591	36,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,617	2,747
繰延ヘッジ損益	△0	4
為替換算調整勘定	3,350	4,470
その他の包括利益累計額合計	5,966	7,221
非支配株主持分	2,773	2,859
純資産合計	44,331	46,144
負債純資産合計	69,395	69,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	14,495	16,904
売上原価	10,991	12,699
売上総利益	3,503	4,205
販売費及び一般管理費	2,438	3,129
営業利益	1,065	1,075
営業外収益		
受取利息	29	30
受取配当金	53	55
持分法による投資利益	—	37
為替差益	104	—
その他	33	55
営業外収益合計	220	178
営業外費用		
支払利息	51	30
為替差損	—	95
持分法による投資損失	4	—
税額控除外源泉税	33	6
その他	21	25
営業外費用合計	111	158
経常利益	1,174	1,096
特別利益		
固定資産売却益	2	1
負ののれん発生益	834	—
特別利益合計	837	1
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	7
特別損失合計	0	7
税金等調整前四半期純利益	2,011	1,090
法人税等	310	302
四半期純利益	1,701	787
非支配株主に帰属する四半期純利益	83	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,617	746

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,701	787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	167	90
繰延ヘッジ損益	42	5
為替換算調整勘定	318	1,146
持分法適用会社に対する持分相当額	60	78
その他の包括利益合計	590	1,320
四半期包括利益	2,291	2,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,154	2,001
非支配株主に係る四半期包括利益	136	106

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用し、繰延税金資産の回収可能性を検討のうえ計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	488百万円	412百万円
のれんの償却額	25	25

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
国内	695	2,984	1,191	2,515	1,420	8,808	538	9,347	—	9,347
海外	49	2,164	322	2,022	191	4,751	396	5,147	—	5,147
顧客との契約から生じる収益	745	5,149	1,514	4,538	1,612	13,559	935	14,495	—	14,495
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
売上高										
外部顧客への売上高	745	5,149	1,514	4,538	1,612	13,559	935	14,495	—	14,495
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	28	20	3	0	72	275	347	△347	—
計	764	5,177	1,534	4,542	1,612	13,632	1,210	14,842	△347	14,495
セグメント利益	51	225	52	492	175	996	68	1,065	—	1,065

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品、建設資材を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(重要な負ののれん発生益)

「化成品部門」セグメントにおいてPARKER AMERICAS INC. (アメリカ)・PARKER AMERICAS de MEXICO S. de R. L. de C. V. (メキシコ)・天津コンフォート自動車部品製造有限公司(中国)の株式と持分を保有するPNホールディングス合同会社を連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を認識しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては834百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
国内	575	2,933	1,187	2,647	1,367	8,710	516	9,227	—	9,227
海外	140	5,065	376	1,565	251	7,400	276	7,676	—	7,676
顧客との契約から生じる収益	716	7,998	1,563	4,213	1,619	16,111	793	16,904	—	16,904
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
売上高										
外部顧客への売上高	716	7,998	1,563	4,213	1,619	16,111	793	16,904	—	16,904
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	33	22	2	0	64	230	294	△294	—
計	721	8,032	1,586	4,215	1,619	16,175	1,023	17,199	△294	16,904
セグメント利益	55	281	81	406	193	1,018	57	1,075	—	1,075

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品、建設資材を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。